

2025 年 3 月 23 日午前 10 時 30 分

受難節第 3 主日 主日礼拝

司会 徳島恵子

奏楽 木戸恵美子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあいさつ)

前 奏

招きのことば ヨハネ 15:5

讃美歌 296(1-3)「いのちのいのちよ」 一 同
交読詩編 86:5-10(P.98/94)

祈 り 司会者

《関東教区お祈りカレンダー》

埼玉中国語伝道所 久喜復活伝道所 在日大韓新潟教会
(主の祈り)

讃美歌 296(4-6)「茨の冠、主はかぶせられ」 一 同

聖 書 新約:マタイ 16:13-28(P.31)

メッセージ『神の国は来ている』

祈 り 川上 盾 牧師

讃美歌 301「深い傷と流れる血に」 一 同

献 金 一 同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(レントのリタナー③ キヤンドル消火) 一 同

頌 栄 26

祝 祷 川上 盾 牧師

後 奏

報告・紹介

＜招きのことば＞ヨハネ 15:5

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝
である。人がわたしにつながっており、わた
しもその人につながっていれば、その人は
豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あな
たがたは何もできないからである。

《3月礼拝当番》 畠中祥世 岩渕デボラ
小林友栄 奈良正太郎
鈴木容子 (徳江由利)

《今週の集会・行事》

◎ 本日礼拝後 週報発送

◎ 本日 13:00 CS午後礼拝 スタッフ会議

◎ 25 日(火) 牧師、赤城育心こども園

◎ 27 日(水) 10:30 婦人会例会

◎ 28 日(金) 10:00 会堂清掃 C 組

◎ 28 日(金) 牧師、共愛学園評議員会・理事会

◎ 29 日(土) 14:00 ハープ&トークのつどい
(お昼前からリハーサル)

《次週の主日》

◎ 主日礼拝 10:30 ゲスト:永山友美子さん

メッセージ『心の弦を響かせよう』

聖書:旧約:詩編 150(P.989)

讃美歌 531, 旧 II 編 157, 27

交読詩編 71:20-23(P.81/77)

司会:岡安茂能 奏楽:徳江由利

◎ 永山さんを囲んで(カフェ)
(昼食交流会はなくなりました)

《予 告》

◎ 聖研祈禱会 4/2(水) 10:30 & 19:30

◎ 4 月定例役員会 4/6(日) 礼拝後

◎ 棕櫚の主日 4/13(日) 受難週に入る

◎ イースター(復活日) 4/20(日)
CS 礼拝 8:00 イースター礼拝 10:30 墓前礼拝 14:30
(14:00 墓地清掃)

《報 告》

◎ レント第 3 主日です

ろうそくを 1 本ずつ消しながら、イエス・キリストの
十字架への歩みを覚え、克己・修養の時として過
ごしています。レントが明ければイースター、今年
は 4 月 20 日です。CS 礼拝、イースター礼拝、墓
前礼拝が行われます。イースターに受洗・転入会
を希望される方は、牧師までお申し出下さい。特
に受洗希望者はお急ぎ下さい(3 月中)。先週、イ
ースター献金袋をお配りしました。ご協力をよろし
くお願いいたします。

◎ 永山友美子さん トーク&ハープの集い

いよいよあと一週間となりました。29 日・
30 日のタイムスケジュールと役割分担表を作
りました。掲示板に貼りますので、担当者に
当たっている方はよろしくお願いします。心
豊かに満たされる 2 日間になることを期待し
ています。なお、29 日(土)のお向かいの会計事
務所の駐車場は使えません。教会側に置いて下
さい。(30 日(日)は大丈夫です。)

◎ 教会総会資料、準備をお願いします

年度末を迎えています。4 月 27 日の教会総
会に向けて、各部の担当者の方には 4/13(日)
までにデータの形で資料作成をお願いします。
4/20 に資料配布をする予定です。

◎ 教会外観の絵・イラスト募集中(3 月末〆切)

〆切が近づいています。応募される方は仕上げ
をお急ぎ下さい。コンテストではありませんので、
気兼ねせずに、奮ってご応募下さい。

《消 息》

◎ 深町奈穂子さん … お父さまの清水良二
さんが、3 月 16 日、天に召されました。葬儀
はご家族で営まれます。主の慰めと平安があ
りますよう、お祈りいたします。

《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献 金
主 日 礼 拝	36	28	16, 174

《メッセージ》「神の国は来ている」川上牧師

申命記 30:15-20, マタイ 12:22-32(3 月 16 日)

▼旧約の箇所・申命記 30 章には「わたしは『命と幸い』
『死と災い』をあなたの前に置く」と記されている。「あなた
の前に置く」、つまりあなたが選びなさい、ということだ。神
は人間を正しい道に無理やり押し込まれるのではない。
正しく生きるのも、罪を犯すのも、あなたの自由だ、と委
ねられる。「原罪」とは強制された宿命ではなく、私たちに
の選択の結果なのだ。▼新約の箇所は、イエスによって
なされた悪霊憑きの癒しと、その後に起こった論争につ
いての記述である。イエスのなされた癒しの業を見て、
群衆は「ダビデの子だ!」と騒ぎ出した。するとそれを妬
んだファリサイ派の人々が「あなたは悪霊・ベルゼブルの
力で追い出しているだけだ」とケチをつけた。鬼気迫る
表情で癒しにあたるイエスの姿を見て、そのように揶揄し
たのであろう。▼イエスは「私がベルゼブルの力で悪霊
を追い出すのなら、あなたがたの仲間は何の力で追い
出すのか」と返した。この言葉から、ファリサイ派の中にも
悪霊憑きの癒しに取り組んでいる人がいたことがうかが
える。「自分たちも同じことをしているのに、どうして一方
が正しく一方は間違っているなどと言えるのか」とイエス
は言われるのである。▼では、クレームを踏むために、
悪霊憑きの癒しには関わらない方がいいのか? そうで
はない。イエスにとって悪霊に憑かれて苦しむ人が癒さ
れる(救われる)ことは、何よりも大切なことだった。手段
や方法の「正しさ」が大事なことでなかったのだ。▼イエ
スは言われる。「私が神の霊で悪霊を追い出している
のなら、神の国はあなたたちのところに来ているのだ」。
ひとりの人が救われる、その出来事の中に神の国はある
のだ、と。私は、イエスならば「たとえ私が悪霊の力で癒
しているように見えたのだとしても、それでもそこに神の
国は来ている」、そう言われたのではないかとと思う。▼こ
ろで、イエスは「神の国はあなたたちのところに来ている」
と言われた。「あなたたち」とは誰のことか? 文脈からす
れば、それはイエスにクレームを付けたファリサイ派の人
たちのことであろう。「どのような方法であれ、ひとりの悪
霊付きの人が癒された(救われた)。そこに神の国は来
ている。あなたはそれを受け入れるのか。」イエスはそう
問われるのである。▼31-32 節では「人が犯す罪や冒瀆
は赦される。人の子に言い逆らう者も赦される」とも言わ
れる。ある意味、ファリサイ派の誹謗中傷に対する赦しの
宣告でもある。イエスは決して対立を望まれるのではない。
▼しかしズルズルとどこまでも譲歩し、彼らの言い分を
頭から認められるのではない。「しかし聖霊に対する冒
とくは赦されない」。聖霊、即ち神の救いへの導きを拒む
者は赦されない、とはっきりと言われるのである。▼しか
しイエスは決してそれを押し付けない。問いかけられる
のである。「いのちと幸い」「死と災い」があなたの前に置
かれている。あなたはどちらを選ぶのか、と。